

# TSY MANINONA

JOURNAL SUR MADAGASCAR



木川 莉江 KIGAWA RIE

JICA青年海外協力隊として  
マダガスカルのアンブイマナンブラで活動中  
大塚製薬株式会社より現職参加  
(2021-3次隊/コミュニティ開発)

## 農村住民の生活改善

毎週土曜日に続けている各地域での「生活改善」ですが、8ヶ所目まで終わり、残り2ヶ所となりました。続けているととても嬉しいことに、生活改善の考え方の広まりや、地域の繋がりなどの効果を実感することが出来てきました。下記に詳細をご報告します。

### Iharamy

頑張り屋の保健ボランティアさんを中心に女性グループができています。2回目の土曜日に教えた改良かまどを、次の日の日曜日に住民が集まって作っていました。4回全て終わり、ここでも「まだ学びたい」という要望があり、平日に継続して訪問することになりました。優しい雰囲気がある地域でした。

### Tanjonandriana

地域長がかなり前から声かけをしてくださっていたため、1回目から多くの人が集まりました。改良かまど・泥炭講習でも多くの質問をいただきすごく盛り上がったため、効果を確認すべく、次の週の訪問の際に自宅で作ったかどうか聞くと、7の方が既に自宅で改良かまどや泥炭を作成していました。最後の週には、これまでで一番多くの日本食（かぼちゃプリン・餃子・お好み焼き・つみれスープ）を一緒につくることができました。



# 66

## Mahay

「できる」という意味  
子どもたちがMahayなことを  
どんどん増やせますように。

そして私も、最後まで  
子どもたちに負けず語学や色んなことを  
Mahayにできますように！



## COURS DES VACANCES POUR LES ENFANTS

休暇中の子どもたちを対象にお楽しみ授業

8月は1ヶ月間、長期休暇中の子どもたちに向けて、市役所の場所を借りてお楽しみ授業を開催しました。私は去年の6月から任地にいるので子どもたちの長期休暇は2回目。折角なので何かできれば、と市役所職員と話し合い思いついたアイデアが「お楽しみ授業」でした。

高校生・大学生の4名に、ダンス・歌・お絵描きの先生をお願いし、毎週2時間の授業を行なってもらいました。ボランティアで授業をしてもらったので受講も無料。開催すると、それぞれの授業に毎回20~30人程の子どもたちが集まってくれていました。今回は先生や子どもたちの交流が目的だったため、私はサポートに徹していました。

授業が進むにつれて、それぞれ学校の違う子たちが仲良くなっていたり、先生が質問攻めにあっていたり、どんどん盛り上がっていく様子が見えてとても嬉しく感じていました。8月30日には発表会も行い1ヶ月の授業を終えました。（ダンスの成長に感動して泣いてしまいました。笑）

きっと、それぞれの子どもたちに新しいお友達が出来て、近所に尊敬できるお兄ちゃんやお姉ちゃんもみつけることが出来たんじゃないかと思います。子どもたちの休暇の思い出の一つになっていると嬉しいです。

